

親子で 春を満喫

奈路タケノコ村

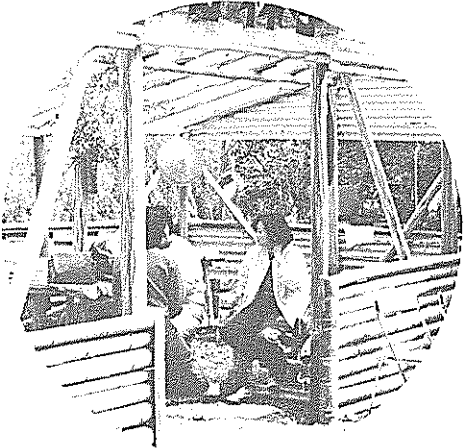


初めてのタケノコ掘りに大奮闘

「土に親しみながら親子の交流を」四月十二日、市の北部奈路地区で「観光だけのご狩り」がオープンしました。

奈路は白木谷と並ぶ、おいしいタケノコの産地。「観光タケノコ狩り」は、自然いっぱいの中で掘った新鮮なタケノコを食べてもらい消費拡大に、そして村の活性化を目指すとうと地元の平田修三さん、川村一成さん、長宗我部良親さんの三人の青年が中心となって昨年からはじめたもので今年が二回目。

約一畝の竹林を開放して、自由にタケノコ狩りが楽しめます。くわや袋は準備されており、初めて



山の幸が楽しめる「筍林亭」

の人に指導もしてくれます。

開園の翌日は日曜日とあって、家族連れや団体客など約百二十人が来園し大にぎわい。見つけた「お父さん、僕が掘る」と子供たちの歓声が響き、慣れない手つきでくわをふるうなど大喜び。袋は見る間にいっぱいになりました。

タケノコ掘りを満喫した後は、木と竹を使って作られた休憩施設「筍林亭」へ。ここでは、タケノコずしやコンニャクずし、タラの芽などの山菜料理が味わえます。器はすべて竹で作られており、おもしろいときわ。訪れた人たちは自然いっぱい、春いっぱいの中でタケノコ狩りや山菜料理を楽しんでいました。

車いすで

利用できます

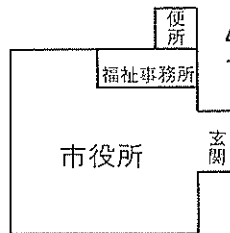
身体障害者用便所が完成



完成した身体障害者用便所

市役所に身体障害者用便所の設置をと、以前から多くの声が寄せられていましたが、このほど庁舎北側に約八平方メートル、総工費約三百六十万円で完成しました。

内部は、車いすでの利用を考え、鏡や洗面台などの位置を低くするなど工夫しており、便所内で異状が起きた場合には、非常用ボタンを押すと外部に取り付けである赤色の回転灯が回り、サイレンが鳴る



ような配慮もされています。また、便所と庁舎との間に屋根を取り付け、雨の日でも市役所に立ち寄る際に便利になりました。